

エコロジカルな回心 —すべてのいのちを守るため—

浦和修道院

教皇フランシスコが呼びかける「ラウダート・シ・アクション・プラットフォームに取り組もう！」
2021年5月から「受け入れ合い、きょうだい愛に満ちた、平和で持続可能な世界をつくるために、被造物をケアする7年間に・・・」

教皇フランシスコは、回勅「ラウダート・シ」に示す目標に向かうための7年間のプロジェクト「ラウダート・シ・アクション・プラットフォーム」を発表されました。

7つの目標について、私たちの地球が美しさを取り戻し、地球に生きるすべての被造物が神さまの計画のもとでかがやくために、世界中の人々に協力を呼びかけています。～ こじかより抜粋 ～

*下記は、共同体・個人としての「エコロジカルな回心」としての取り組みについての報告です。

目標① 地球の叫びにこたえる。

- ・照明器具をLEDに交換し、節電（コンセントをこまめに抜く、早めの就寝、TVの使用を控えるなど）に心掛ける。
節水（歯磨きや洗顔、洗濯時の水の流しっ放しをしない）、布袋・紙袋の使用（買い物の時はマイバック）
- ・古い布を使って食器や鍋の汚れを拭き取り汚染水を流さないようにする。
アクリル毛糸のたわしで食器洗い、洗剤は少量にする。
- ・庭の整備（花を植え、飾り、草取りをする）

② 貧しい人の叫びにこたえる。

- ・貧しい人々との食料の分かち合い：特に貧しい人々というわけではないが、野菜を沢山いただいた時は、ご近所の方と分かち合い、無駄のないように漬物にして保存したり、果物はジャムにしたりしている。

③ 環境を守るくらしの仕組みをつくる。

- ・食品ロスを防ぐ：多く作り過ぎず、捨てない。
残り物は容器、レンジ用ふたを使用（サランラップは必要以上に使わない。）
- ・封筒、印刷済みの用紙などは再利用、洗剤は詰め替え用を購入、使用の際は少なめに。
- ・野菜の残りくずは土へ戻し、家庭菜園に取り組んでいる。
- ・ごみの削減、区の指定に従って分別してリサイクルに努め、古紙、新聞、段ボールは近隣の小学校のPTAの廃品回収に協力している。
- ・壊れたものはなるべく修理して再利用（新聞・広告紙はゴミ箱用などに利用）。

④ シンプルな生活をする

- ・身の回りの整理整頓、断捨離に努める。
- ・簡単なライフスタイルを各自生きることが出来るよう努力する。
- ・毎月静修の日は「オフデー」として、共同体お休みの日に。食事はシンプルに、小さな人々との連帯のため、また電力消費の節約と、地球温暖化の問題を意識するために、夕食は小さな灯り（ランプやろうそく）でいただくようにしている。

⑤ 環境について学びを深める。

- ・昨年6月と10月の2回、セミナー「気候危機とラウダート・シ〜母なる地球に愛をこめて」に参加。
- ・環境問題について新聞や雑誌、ニュースなどで知り、心を合わせて共同体で祈りを捧げる。

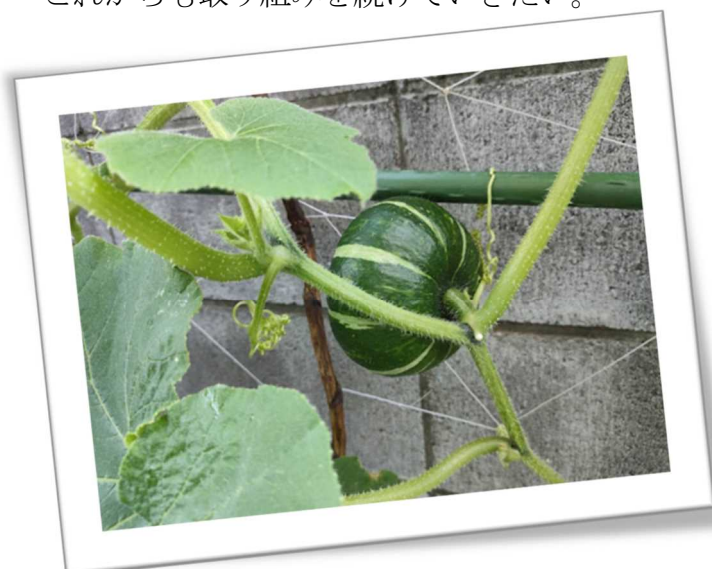
⑥ 環境についての霊性を高める

- ・「ラウダート・シ」回勅の読書と分かち合い。
- ・自然の中で祈る（フランシスコ会周辺は季節ごとの花々と実のなる木が多い）。春は、特に鶯の鳴き声やほかの鳥の鳴き声に癒され、心の平和をいただいている。

⑦ 家庭や学校、教会の仲間と取り組む

- ・教会のフードサービスへの協力（食費の中から食品を購入して提供）、幼稚園で使用しなくなった絵本や見本の絵本などの提供、すべての人の命を守るための献金を増やした。土曜学校では、被造物とのつながりを知り、観察をしたり制作したりしながら、生命あるものを大切にできるように、また感謝の気持ちを持てるようにカリキュラムを作成し、実施した。

*世界のいろいろな状況を「知る」ことの大切さに気づき、少しでも共有していくことで行動に向かうのではないかと思う。「そこまで？」と言わず、まず、「やってみよう！」と、これからも取り組みを続けていきたい。



野菜のくずを土に入れたら、
昨年の夏、かぼちゃの芽が
育ち収穫できました。